

## 送配電部門の連携による一層の効率化に向けた検討について

平成29年6月2日  
中部電力株式会社  
北陸電力株式会社  
関西電力株式会社

中部電力株式会社、北陸電力株式会社および関西電力株式会社（以下、3社）の送配電部門は、相互連携による一層の効率化に向けた検討を行うことといたしましたのでお知らせします。

3社は地理的に隣接し、電力系統が相互に連系しているため、従前より送配電に係る効率的運営や技術的課題に連携して取り組むとともに、送配電設備の保守業務の受委託、災害復旧時の相互応援など、幅広く協力してまいりました。

今般、各社の送配電設備が混在している地域の設備形成の最適化をはじめ、電力需給調整や電力系統の運用面などにおいて、相互連携により一層の効率化を推進するため、3社の送配電部門で検討することといたしました。今後、詳細な協議を進めてまいります。

3社は、今後も引き続き、地域の皆さまのご理解を賜りながら、お客さまに安全・安価で安定した電気をお届けできるよう努めてまいります。

以 上

添付資料：送配電部門の連携による一層の効率化に向けた検討

# 送配電部門の連携による一層の効率化に向けた検討

平成29年6月2日  
中部電力株式会社  
北陸電力株式会社  
関西電力株式会社

## 送配電部門の連携による一層の効率化

1

- 各社の送配電設備が混在している地域の設備形成の最適化をはじめ、電力需給調整や電力システムの運用面などについて、相互連携により一層の効率化に向けた検討を行う。

### <従前からの取組み>

#### ○ 他社電力系統との連系強化

- ・ 隣接他社電力系統との連系による供給信頼度向上、供給予備力の節減
- ・ 系統故障時・需給ひっ迫時の電力融通による需給安定化（定期的な訓練を含む）

#### ○ 他社電力系統との接じよう地域<sup>※1</sup>における相互協力

- ・ 設備故障時の相互応援（資機材融通含む）
- ・ 設備の保守委託による業務効率化

### <一層の効率化の取組み>

#### ○ 設備形成の最適化

- ・ 3社の送配電設備が混在している地域において、経年取替等のタイミングで、設備のスリム化と最大限の有効活用を図る 等

#### ○ 調整力の相互活用

- ・ 従来はエリア毎に調整力を活用して需給バランス調整を実施してきたが、広域的なインバランスネットィング<sup>※2</sup>や広域メリットオーダー<sup>※3</sup>を考慮することにより、一層効率的な調整を推進 等

※1 接じよう地域：ある会社の送配電設備と他社の送配電設備が近接している地域

※2 インバランスネットィング：エリア間で発生する余剰・不足インバランスを相殺すること

※3 広域メリットオーダー：エリアをこえて安価な順に調整力を活用すること

◆設備形成の最適化

中部電力、北陸電力、関西電力の送電線が混在しているエリアについて送電設備の最適形成を検討



◆調整力の相互活用（概念図）

<従来：エリア毎の需給調整>

